

令和8年度当初予算 概要

令和8年2月
会計室

1 令和8年度 予算規模

(単位:百万円)

	令和8年度 当初予算案(A)	令和7年度 当初予算(B)	増減 (A)－(B)
一般会計	507	568	▲ 61

※職員給与費を除く

2 主要施策

◆ 令和8年度 予算方針

会計室では、簡素で効率的な組織のもと、公金の出納及び支出命令等に関する審査・指導を強化するとともに、財務会計システムの安定的な運用を行うことなどにより、適正な会計事務の執行に努める。

また、資金状況に応じたきめ細かな運用や調達を行い、安全かつ有利な資金管理を推進する。

さらに、公金事務の効率性と確実性を担保するため、デジタル化を着実に推進するとともに、国等の動向を踏まえ、会計事務にかかる公金の適正な経費負担を行う。

◆ 令和8年度 予算の基本的な考え方

会計事務

予算額 507百万円(対前年度 ▲10.7%)

適正な会計事務の執行に努め、会計事務執行に必要なシステムの安定した使用環境の保守管理、機能改善等を行う。

また、国等の考え方や全国的な傾向を踏まえて、適正な公金取扱手数料を負担する。

- ・ 会計管理事務
- ・ 公金収納デジタル化(財務会計システム)
- ・ 財務会計システム基盤更新事業
- ・ 金融機関等公金取扱手数料
- ・ 財務会計システム運用保守業務
- ・ **新規** 公金収納事務のデジタル収納(eLTAX対応)
- ・ **新規** 財務会計システム改修業務



3 主な事業

・会計管理事務 27百万円

事務の外部委託を活用することで、簡素で効率的な組織体制を構築し、職員による審査・指導体制の強化を図る。

・公金収納デジタル化(財務会計システム) 32百万円

令和8年9月までに、eLTAXの仕組みである地方税統一QRコードを活用したデジタル収納を開始するため、財務会計システムを改修するもの。

・財務会計システム基盤更新事業 102百万円

財務会計システム基盤の契約終了に伴い、令和8年1月に財務会計システムを市のクラウド共通基盤へ移行した。本事業では、移行後も安定的かつ円滑に会計事務を実施できるよう、財務会計システムの運用環境を整備する。

・金融機関等公金取扱手数料 182百万円

国等の考え方や全国的な傾向を踏まえて、適正な公金取扱手数料を負担する。

・財務会計システム運用保守業務 69百万円

令和4年度に導入した現行の財務会計システムが令和8年8月に契約満了を迎えることから、全庁的な会計事務を引き続き円滑かつ正確に遂行するため、システムの安定運用を確保し、運用保守契約を更新するもの。

新規 ・公金収納事務のデジタル収納(eLTAX対応) 7百万円

市税における「eLTAX」について他の公金収納項目への拡大の動きに対応するため、財務会計システムの改修を行っているところであり、令和8年9月の運用開始に向け、地方税共同機構への負担金とその周知のための広報費を計上する。

新規 ・財務会計システム改修業務 8百万円

全庁アンケートやプラチナ市役所プロジェクトからの要望をもとに、会計室X方針記載のとおり、財務会計システムの改修を行い、職員の負担軽減を図る。

【問合せ先】
会計室
檜垣(次長)、勝井(係長)
TEL:093-582-2514